



食材を知り 産地を知り 食文化を知り 望ましい食習慣を・・・

6月26日（木）の給食の時間に、栄養教諭の小笠原先生による「食の指導」を行いました。6月が「食育月間」ということもあり、それに合わせてこの時期の実施となりました。

「食育月間」というのは、平成17年6月に「食育基本法」が施行されたことにちなんで、毎年6月を「食育月間」としたものです。また、「育（いく）」＝19（いく）の語呂合わせで、毎月19日を「食育の日」として、全国でさまざまな食育活動が行われています。

今回の「食の指導」は、5年生社会科の「寒い気候と北海道の農業・漁業」の学習と関連させ、給食のメニューが「玉ねぎのみそ汁」「ホッケの塩焼き」「じゃがバター風炒め」「夕張メロンゼリー」等、食材が北海道の地物を活かした内容でした。

子ども達は、社会科で学習した北海道の農業や漁業のことを思い出しながら、食材やメニューについての説明を聞き、おいしそうに給食を食べていました。食材の産地について知っていたり、イメージできたりすると、それだけで目の前のメニューが身近なものに感じられ、食欲も増すようです。北海道の代表メニューとも言える「じゃがバター風炒め」には、お代わりの行列ができるほどでした。

このように、地域の自然条件を生かした食生活や食料自給について考えることは、地域を大切にする心を育むことにもつながります。ご家庭でも食事を囲んで食材や食文化について話す機会を設けてはいかがでしょうか。



【社会科の学習と関連した食育授業】



【食欲旺盛…おかわりに大行列】

地域の方からいただいたカブトムシの幼虫・・・立派な成虫へ！

1年生から3年生の学級では、カブトムシを育てています。このカブトムシは、あすみ野にお住まいの細川さんが、子ども達のために寄付してくださったものです。

細川さん曰く、ご自分の実家（一関方面）の竹林を整理したら、カブトムシの幼虫がたくさん出てきたので、子ども達に見せたり、学校で育てたりしてほしいという連絡をいただきました。幼虫からさなぎ、そして成虫へと姿を変えていく様子を間近で見ることができるのは、なかなかないことなので快くお受けしました。すると、届けていただいたのはカブトムシの幼虫が入っている衣装ケースが2個。中には約200匹以上の幼虫が入っているとのことでした。あれから1か月半、多くの学級で幼虫がさなぎに変態し、カブトムシの成虫となって地中から出てくる姿が見られるようになりました。

子ども達は、成虫になったカブトムシの姿を見つけ、「やったあ！」「カッコイイ！」「強そう！」などの声を上げ、喜びの表情を浮かべていました。



【成虫になり、土の上に出てきたカブトムシ】



【衣装ケースに入ったカブトムシの幼虫と畠山さん】

世界遺産を訪れ「奥州藤原氏」の歴史を学んだ中尊寺見学…

7月16日(木)、6年生は、世界遺産に登録された平泉を訪れ、国宝「中尊寺」の見学学習を行いました。この学習は、社会科の「武士の世の中をさぐる」の学習の一環として、「源氏と平氏の戦い」や「源頼朝・義経の確執」、それに関わる「奥州藤原氏の歴史と文化」への理解を深めることをねらいとしています。

子ども達は、事前に宮先生から「奥州藤原氏」が栄えた経緯や中央政権との関りなどを学び、興味・関心を高めていました。

当日の朝は雨模様でしたが、中尊寺に着いた頃には天気も回復し、子ども達はガイドさんの説明に真剣に耳を傾けていました。金色堂の見学では、光り輝く建物の豪華さに、「うわあ、すごい！」という声を上げたり、須弥壇の中に藤原4代の遺体が納められている説明に「本当に入っているの？」と驚きの表情を見せたりしていました。

また、光勝院での座禅体験では、和尚さんから座禅の意義や姿勢の作り方、呼吸の仕方などをていねいに教えていただき、静かな空間の中で心を落ち着けて座禅にチャレンジしていました。

今回の社会科見学で子ども達は、「奥州藤原氏の歴史と文化」を実際に見学することにより、教科書に載っている歴史的事象との関わりをより深く理解することができました。また、900年も前の身近な先人が、平和を願ってこのようなすばらしい文化を築き上げたことを知り、自分たちの郷土を大切に守っていかうと思う気持ちも高めることができたのではないのでしょうか。

ほんの数時間の見学ではありましたが、過去にタイムスリップをし、多くのことを学んだ社会科見学学習でした。



【宮先生による特別授業】



【光り輝く「金色堂」を参拝】



【光勝院境内にて説明を聞く】



【気持ちを落ち着け座禅開始】

危険予測能力・危険回避能力を高めた防犯(不審者対応)教室・・・

7月16日(木)の2校時から4校時に、1・2・3年生を対象とし防犯教室を行いました。これは、実際に不審者に遭遇した場合に、慌てずに命を守るための行動が取れることをねらいとしています。

当日は、盛岡西警察署生活安全課の職員の方から、「みんなの命は一人に一つ・・・だから一人ひとりが大切な存在・・・」をスタートに、合言葉「イカのおすし」で分かりやすく命を守る方法を学びました。

いつも 守ろう！ **イカのおすし**

- 知らない人にはついて**イカ**ない
(知り合いの人でも、お家の人にことわってから)
- 車には**の**らない(悪い誘いにもものらない)
- **お**おごえを上げる(怖い目にあったら「助けて！」)
- **す**ぐににげる(なるべく人がいる明るいほうへ)
- くわしく大人に**し**らせる



【1年生の防犯教室の様子】

もうすぐ夏休みになります。知らない人に声を掛けられたときの答え方や助けの求め方、逃げ方などについて、ご家庭でも確認することで、夏休みの安全な過ごし方にもつながってきますので、よろしくお願いいたします。